

平成30年度 シラバス

教科	国語	科目	国語総合	学年 学科 類型	1年 商業科 I型
単位数	4	教科書	精選国語総合 (東京書籍)		
副教材等	精選国語総合 学習課題ノート (東京書籍)				

学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 言語文化としての国語の持つ美しさや正しさについて認識し、その理解を深めます。 2 基礎的・基本的な知識・技能を活用して、課題を探究する国語力を身に付けます。 3 論理的思考力や想像力、的確な判断力・表現力を身に付け、伝え合う力を養います。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・現代文では、教科書の音読や漢字の読み書き、語句の意味調べをしましょう。学習に取り組みましょう。また、読書の習慣を身に付けて、社会や人間への探究心を持ちましょう。 ・古典では、音読の練習を繰り返し行い、辞書を引くことで語句の意味などを理解し、現代語訳ができるようにしていきます。予習は確実にいきましょう。 ・単元終了後は「整理と演習」などを活用して復習し、学習事項を確認しましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価				
			①	②	③	④	⑤
1 学期 中間	随想	<ul style="list-style-type: none"> ・随想の基本的な読み方を習得します。 ・随想を読んで、筆者のものの見方や感じ方を理解します。 ・課題プリント、ノート、定期考査 	B	—	A	—	B
	古文・漢文	<ul style="list-style-type: none"> ・古文と現代文との違いを知り、古文を読む基礎を学びます。 ・訓読のきまりを理解し、文章の内容を的確に読み取ります。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	B	A
1 学期 末	小説	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物・情景・心情などを表現に即して読み味わいます。特に、主人公の心理の変化について、展開に即して考えます。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
	古文・漢文	<ul style="list-style-type: none"> ・説話のおもしろさを味わい、古文の世界に親しみます。 ・格言や故事成語を読んで、漢文の世界に親しみます。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	B	A
2 学期 中間	評論	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の基本的な読み方を習得します。 ・具体例を丁寧に読み取りながら論理の展開を把握し、筆者の主張を的確に捉えます。 ・課題プリント、ノート、定期考査 	B	—	—	A	B
	古文・漢文	<ul style="list-style-type: none"> ・古文に描かれた内容を、叙述に即して的確に読み取ります。 ・人間や人間関係を生き生きと描いた史伝の魅力を味わいます。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	A	—	—	B
2 学期 末	小説	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心の動きに注意して、まとまった分量の小説を読み味わいます。 ・文体の特色や象徴的な表現の効果について考え、小説の鑑賞力を高めます。 ・課題プリント、ノート、定期考査 	B	—	—	A	B
	古文・漢文	<ul style="list-style-type: none"> ・想像力を働かせながら、物語の世界を読み味わいましょう。また、随想から作者独自のものの見方考え方を発見します。 ・史伝の舞台となる戦国時代の状況について理解を深めます。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
学 年 末	評論	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の提示する具体例を丁寧に読み取りながら、哲学・思想分野の評論に親しみます。 ・「豊かさ」とは何かについて、その考えの違いについて理解を深める。 ・課題プリント、ノート、定期考査 	B	—	—	A	B
	小説	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心理や行動を的確に読み取り、作品の主題について考えを深めます。 ・課題プリント、ノート、定期考査 	B	—	—	A	B
	古文・漢文	<ul style="list-style-type: none"> ・話の構成や展開を把握し、当時の社会や人々のありさまや心情を捉えます。 ・東洋の思想に大きな影響を及ぼした『論語』の思想に触れます。 	B	—	—	A	B

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	世界史A	学年 学科 類型	1年 商業科 I型
単位数	2	教科書	高等学校 改訂版 世界史A (第一学習社)、新詳高等地図 (帝国書院)		
副教材	最新世界史図説 タペストリー十六訂版 (帝国書院)				

学習の目標	<p>1 近現代史を中心とする世界の歴史を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解します。</p> <p>2 現代の諸課題を歴史的観点から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養います。</p>
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学時代には学習していない項目が多数ありますので、授業に集中することが大切です。 ・ 家庭学習では復習に重点を置いてください。教科書とともに、授業中に指示された資料集の箇所は、家庭で熟読して理解を深めていくように心掛けてください。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1編 第1章 自然環境と歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・ 河川や海洋などの自然環境について地図や写真を活用しながら取り扱い、自然環境と人類の活動の関連について考えます。 ・ ノート、白地図作業、定期考査 	B	A	—	—
	第2編 第2章 結びつく世界と近世の日本	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界的な規模の航海事業やグローバルな交易圏の成立を学び、世界の一体化がどのように進んでいったのかを考えます。 ・ ノート、白地図作業、定期考査 	B	B	B	A
1 学期 末	第3章 ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活・社会・経済の構造を大きく変化した産業革命を取り扱い、自由主義と保守反動体制との対立を学習します。 ・ ノート、定期考査 	B	A	—	B
	第4章 アジア諸国の変貌と近代の日本	<ul style="list-style-type: none"> ・ アジアの諸地域の植民地・半植民地化の過程を、欧米諸国の工業化の進展と関連付けながら学習します。 ・ ノート、白地図作業、定期考査 	B	B	B	A
2 学期 中間	第3編 第1章 帝国主義の時代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市場拡大を目的とした列強の清への進出を取り扱い、清の支配体制の動揺と列強進出に抗する民族運動について学びます。 ・ ノート、課題プリント、定期考査 	B	B	—	A
	第2章 急変する人類社会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 輸送・通信手段の発達と列強による世界政策との関連に着目しながら、マスメディアが及ぼす影響について考えます。 ・ ノート、定期考査 	B	B	—	A
2 学期 末	第3章 世界戦争と平和	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二つの世界大戦について、その背景や影響を、帝国主義や世界分割、民族運動を取り扱いながら学習します。 ・ ノート、白地図作業、定期考査 	B	A	B	B
	第4章 三つの世界と日本の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・ アメリカとソ連を中心に世界が東西に分かれて「冷たい戦争」が出現した経緯を、日本の立場を踏まえながら学習します。 ・ ノート、白地図作業、定期考査 	A	B	—	B
3 学期	第4章 三つの世界と日本の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第二次世界大戦後に独立した国々が直面した問題を取り扱い、アジア・アフリカ諸国の連帯について学びます。 ・ ノート、課題プリント、定期考査 	A	B	—	B
	第5章 地球社会への歩みと課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冷戦終結と多極化について学習し、現代社会における地球規模の課題について考えます。 ・ ノート、定期考査 	A	B	B	—
	第6章 持続可能な社会への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界の人々が共存し持続可能な社会を実現していくための方策を考え、人類の課題について歴史的な視点から探究します。 ・ レポート 	B	A	B	—

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	数 学	科 目	数学 I	学年 学科 類型	1年 商業科 I型
単位数	3	教科書	新編 数学 I 改訂版 (啓林館)		
副教材等	ネオパル数学 I (第一学習社)				

学習の目標	<p>数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間とのかかわりや、社会生活において数学が果たしている役割について理解し、数学に対する興味・関心を高めるとともに、数学を活用していく能力を身に付けます。</p>
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書と並行して、問題集で演習を行います。予習・復習を徹底するとともに、疑問点の解消に向けて努力してください。 ・学習課題は必ず行い、提出物は期限までに必ず提出してください。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1章 数と式 第1節 整式	<ul style="list-style-type: none"> ・式の展開と因数分解について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	B	A
	第2節 実数	<ul style="list-style-type: none"> ・数を実数まで拡張する意義を確認し、数の体系について理解を深めます。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	A	B
1 学期 末	第3節 1次不等式	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な事象を1次不等式の問題に帰着させ、それを解く方法を学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	A	B
	第2章 2次関数 第1節 関数とグラフ	<ul style="list-style-type: none"> ・2次関数のグラフの特徴について理解を深めます。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	—	A
2 学期 中間	第2節 2次関数の最大・最小	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフを用いて、2次関数の最大値や最小値を求める方法を学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	A	B	B
	第3節 2次関数と方程式・不等式	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフを用いて、2次関数と方程式・不等式の解の求め方を学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	A	—	B
2 学期 末	第3章 図形と計量 第1節 鋭角の三角比	<ul style="list-style-type: none"> ・三角比の意味と相互関係について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	A	B	B
	第2節 鈍角の三角比	<ul style="list-style-type: none"> ・三角比の角度を鈍角まで拡張して考えることを学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	B	A
	第3節 図形の計量	<ul style="list-style-type: none"> ・正弦定理や余弦定理を用いて、辺の長さや角の大きさの求め方を学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	B	A
3 学期	第3節 図形の計量	<ul style="list-style-type: none"> ・直接測りにくいものの長さや角の大きさの求め方を学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	B	A
	第4章 集合と命題 第1節 集合と命題	<ul style="list-style-type: none"> ・集合の考え方を必要条件、十分条件、対偶などを学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	A	B	B
	第5章 データの分析 第1節 データの整理と分析	<ul style="list-style-type: none"> ・データを整理・分析し、事象の傾向を把握する方法について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	A	B	B
	第2節 データの相関	<ul style="list-style-type: none"> ・データにおける関係性を考察し、その関係を説明する方法について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	A	B	B

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	理科	科目	科学と人間生活	学年 学科 類型	1年 商業科 I型
単位数	2	教科書	科学と人間生活 (啓林館)		
副教材等					

学習の目標	1 自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な物事・現象に関する観察・実験などを通して理解します。 2 科学に対する興味・関心を高めるとともに、科学的な見方や考え方を身に付けます。
学習の方法	・教科書の内容に沿って観察・実験などに基づきながら学習を進めます。 ・適宜課題プリントなどに取り組むことにより理解度を高めます。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1部 生命の科学 第1章 生物と光 A 植物の光合成	<ul style="list-style-type: none"> 植物の生育に光が関係していることを理解します。 定期考査、授業ノート、行動の観察、観察・実験の観察 	B	B	B	A
	第1部 生命の科学 第1章 生物と光 B ヒトの視覚と光 C 動物の行動と光	<ul style="list-style-type: none"> 動物の行動及びヒトの視覚と光の関わりについて理解します。 定期考査、授業ノート、行動の観察、観察・実験の観察 	B	A	B	B
1 学期 末	第2部 物質の科学 第1章 食品と衣料 A 食品の科学	<ul style="list-style-type: none"> 食品中の主な成分の性質について理解します。 定期考査、授業ノート、行動の観察 	B	B	-	A
	第2部 物質の科学 第1章 食品と衣料 B 衣料の科学	<ul style="list-style-type: none"> 身近な衣料材料の性質や用途について理解します。 定期考査、授業ノート、授業態度、発表、行動の観察、観察・実験の観察 	B	B	B	A
2 学期 中間	第3部 光と熱の科学 第1章 光の性質とその利用 A 光とはなにか B 光の性質	<ul style="list-style-type: none"> 光の性質とその利用法を理解します。 定期考査、授業ノート、発表、行動の観察、観察・実験の観察 	B	B	B	A
	第3部 光と熱の科学 第1章 光の性質とその利用 C 電磁波とその利用	<ul style="list-style-type: none"> 光を中心とした電磁波とその利用について理解します。 定期考査、授業ノート、発表、行動の観察 	B	B	-	A
3 学期	第4部 宇宙や地球の科学 第1章 身近な天体と太陽系における地球 A 太陽系の中の地球 B 太陽と人間生活	<ul style="list-style-type: none"> 太陽や月などの身近に見られる天体や太陽系における地球について理解します。 定期考査、授業ノート、発表、行動の観察 	B	B	-	A
	第4部 宇宙や地球の科学 第1章 身近な天体と太陽系における地球 C 天体の運行と人間生活	<ul style="list-style-type: none"> 天体の運動と人間生活との関わりについて理解します。 定期考査、授業ノート、発表、行動の観察 	B	A	-	B

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	学年 学科 類型	1年 商業科 I型
単位数	2	教科書	現代高等保健体育 改訂版 (大修館)		
副教材等					

学習の目標	<p>1 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにします。</p> <p>2 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養い、健康・安全・運動についての課題を主体的に解決する意欲や能力を育てます。</p>
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動、球技・武道(選択)、ダンス・陸上競技(選択)を通して、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てます。 ・体育理論では、座学でスポーツにかかわる生活のあり方について学びます。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐし運動を通して体を動かすことの楽しさや心地よさを味わい、心と体が互いに影響し変化することを学びます。 ・行動観察 	A	B	—	B
	選択(ダンス・陸上競技)	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技では、記録の向上や競走の楽しさや喜びを味わい、技能を高めます。主に障害走と跳躍を行います。 ・記録計測 ・ダンスでは感じを込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったりする楽しみや喜びを味わい、表現や踊りを高めて交流や発表ができるようになります。 ・実技テスト 	B	B	A	B
2 学期	体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体力を高める運動を行います。その際、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和の取れた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立てて取り組むようにします。 ・行動観察 	A	B	—	B
	選択2(球技【ソフトボール・バレーボール・テニス】・武道)	<ul style="list-style-type: none"> ・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようになります。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・実技テスト 	B	B	A	B
	選択3(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	<ul style="list-style-type: none"> ・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようになります。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・実技テスト 	B	B	A	B
	体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解できるように学びます。 ・小テスト 	B	B	—	A
3 学期	陸上競技(長距離走)	<ul style="list-style-type: none"> ・長距離を走ることにより自分と向き合い努力すること、粘り強く相手と競り合う強い心を養うことを目標とします。また、ペース配分をしたり、ペースの変化に対応するなど主体的に取り組むことができるようになります。 ・記録計測 	B	B	A	B
	選択(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	<ul style="list-style-type: none"> ・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようになります。 ・実技テスト ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・実技テスト 	B	B	A	B
	体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・現代のスポーツは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを理解します。 ・小テスト ・ドーピングはフェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせていることを理解します。 ・小テスト 	B	B	—	A

平成30年度 シラバス

教科	保健体育	科目	保健	学年 学科 類型	1年 商業科 I型
単位数	1	教科書	現代高等保健体育 改訂版 (大修館)		
副教材等	現代高等保健体育ノート(大修館)				

学習の目標	1 個人および社会生活における健康・安全について理解を深めます。 2 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身に付けます。
学習の方法	・現代社会は、生活習慣病や薬物、心の問題など健康にかかわる問題が少なくない。また、健康の捉え方や健康のために望まれることも変化してきた。そこで現代の健康問題や新しい健康のあり方について、課題学習などを取り入れながら主体的に学習します。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	1 私たちの健康のすがた	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国における健康水準の向上、健康問題の変化について学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査 (以下同様) 	A	B	-	-
	2 健康のとらえ方	<ul style="list-style-type: none"> ・健康について多様な考え方があることを知り、健康の成り立ちとその要因について学びます。 	B	A	-	B
	3 健康と意思決定・行動選択	<ul style="list-style-type: none"> ・意思決定・行動選択とそれに影響を与える要因について学び、正しい意思決定・行動選択を実現する態度を身に付けます。 	B	-	-	A
	4 健康に関する環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりを支える環境について学び、生涯を通じてヘルスプロモーションの考え方もとづく環境づくりができるように学習します。 	B	A	-	B
	5 生活習慣とその予防	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病とはどういうものか及びその要因となるものを知って、生涯にわたってその予防ができるような生活を考えます。 	A	B	-	-
	6 食事と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・健康的な食生活の重要性と意義について学び、生涯にわたって健康的な食生活習慣を行うことができるように学習します。 	B	-	-	A
	7 運動と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・健康から見た運動の意義について学び、健康づくりのための運動習慣を身に付け、生涯にわたって運動が行えるように学習します。 	B	A	-	B
	8 休養・睡眠と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・健康から見た休養・睡眠の意義を学び、よりよい休養・睡眠のとり方を生涯にわたって実践できる能力を養います。 	B	A	-	-
	9 喫煙と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙の科学的な知識とたばこのない社会の実現には、個人および社会全体で取り組むことが重要であることを学習します。 	B	A	-	-
2 学期	10 飲酒と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・飲酒による短期的影響、長期的影響について理解します。また飲酒の社会的問題について自分たちと関連づけて考えることができるように学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査 (以下同様) 	B	A	-	B
	11 薬物乱用と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用の心身への健康影響を学習します。また薬物乱用は、個人として絶対におこなってはならないと自覚できるように学習します。 	B	A	-	B
	12 現代の感染症	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の流行の背景には、自然環境や社会の変化がかかわっていることを学習します。 	A	B	-	-
	13 感染症の予防	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の予防の原則は感染源対策、感染経路対策、感受性者対策があり、一人ひとりの適切な行動が社会全体を守ることにつながることを学習します。 	B	-	-	A
	14 性感染症・エイズとその予防	<ul style="list-style-type: none"> ・性感染症およびエイズについて基本的知識を学び、それらの予防対策を個人および社会の両面から学習します。 	B	A	-	B
	15 欲求と適応規制	<ul style="list-style-type: none"> ・心の働きが主として大脳によって統一的・調和的に営まれていることや、成長にともない欲求が多様化することについて学習します。 	A	B	-	-
	16 心身の相関とストレス	<ul style="list-style-type: none"> ・心身相関では、心の働きが体に対して、逆に体の状態が心に対して、お互いが双方方向の影響を与えることを理解し、科学的なメカニズムを学習します。 	B	-	-	A
	17 ストレスへの対処	<ul style="list-style-type: none"> ・心の健康な状態を保持・増進し、自分らしい生活をしていくために、ストレス対処と自己実現を学びます。 	B	A	-	B
3 学期	18 心の健康と自己実現	<ul style="list-style-type: none"> ・心の健康な状態と自己実現の歩みは、車の両輪のようなものであることを理解し、長い人生の過程をできる限り具体的にイメージして考えます。 ・課題プリント、ノート、定期考査 (以下同様) 	B	A	-	B
	19 交通事故の現状と要因	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の現状と要因について学習します。また様々な事故に対してこれらの要因を当てはめて考えていきます。 	B	A	-	B
	20 交通社会における運転者の資質と責任	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故を防ぐために、運転者として必要な資質と責任があることを学びます。運転者は安全に運転をおこなう責任があるということを知ります。 	A	B	-	-
	21 安全な交通社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・安全のためには、一人ひとりが気をつけるだけでなく、人々の安全を支えるような社会や車両の改善も必要であることを学習します。 	A	-	-	B
	22 応急手当の意義とその基本	<ul style="list-style-type: none"> ・応急手当の意義を学び、けが人や急病者を発見した際に自分たちができることや、手当ての基本的な手順を把握します。 	A	-	-	B
	23 心肺蘇生法	<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り正確な心肺蘇生法の習得を目指し、同時に心配蘇生法の原理を学習します。 	B	A	-	B
	24 日常的な応急手当	<ul style="list-style-type: none"> ・応急処置について適切な判断と応急手当の方法を身に付け、熱中症などの予防にも心がけることの必要性を学習します。 	B	A	-	B

(備考) 定期考査は、学期末に行う。

平成30年度 シラバス

教科	芸術	科目	音楽 I	学年 学科 類型	1年 商業科 I型
単位数	2	教科書	MOUSA1 (教育芸術社)		
副教材等					

学習の目標	1 音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を養い、豊かな感性を身に付け、音楽文化について理解を深めます。 2 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受して歌唱、演奏をします。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱では、曲の背景や歌詞の内容と関わらせて、イメージを持って歌います。 ・器楽では、篠笛とクラシックギターを使い、楽器や音色の特徴を生かして演奏します。 ・鑑賞では、時代背景や作曲家の人生を学びながら楽曲について考えます。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	歌唱 ・校歌、イタリア歌曲、ドイツ歌曲	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や楽曲の背景を理解し、イメージを持って歌います。 ・発音を学びながら諸外国の文化を理解し、表現を工夫して歌います。 ・練習への取組方、実技テスト 	B	A	B	-
	和楽器 ・篠笛	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統音楽に触れ、歴史的背景や特徴を理解します。 ・篠笛の基本的奏法を習得し、表現を工夫して演奏します。 ・練習への取組方、実技テスト 	B	B	A	-
	鑑賞 ・バロック、古典派、ロマン派	<ul style="list-style-type: none"> ・声や楽器の音色の特徴と表現上の効果を感じ取りながら鑑賞します。 ・楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲家の特徴を理解して鑑賞します。 ・ワークシート 	B	-	-	A
	西洋音楽史・楽典	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な時代の音楽や作曲家の特徴と、文化的・歴史的背景との関わりについて学びます。 ・楽譜の書き方や、読み方について学びます。 ・ワークシート 	A	-	B	-
2 学期	歌唱 ・日本歌曲、ミュージカルナンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や楽曲の背景を理解し、イメージを持って歌います。 ・楽曲が歌われる場面をイメージし、表現を工夫して歌います。 ・練習への取組方、実技テスト 	B	A	B	-
	鑑賞 ・ミュージカル	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲の文化的・歴史的背景を理解し、表現の特徴を理解して鑑賞します。 ・鑑賞プリント 	B	-	-	A
	器楽 ・クラシック・ギター	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の特徴を理解して基本的奏法を習得します。 ・楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏します。 ・練習への取組方、実技テスト 	B	B	A	-
3 学期	歌唱 ・オペラのアリア	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や楽曲の背景を理解し、イメージを持って歌います。 ・楽曲が歌われる場面をイメージし、表現を工夫して歌います。 ・練習への取組方 	B	A	B	-
	器楽 ・クラシック・ギター	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の奏法を理解し、弾き語りを行います。 ・楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏します。 ・練習への取組方、実技テスト 	B	B	A	-

(備考) 1 定期考査は、期末に実技試験を行う。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	芸術	科目	美術 I	学年 学科 類型	1年 商業科 I型
単位数	2	教科書	美術 1 (光村図書)		
副教材等					

学習の目標	<p>1 様々な表現活動を通して、自らの考えや気持ちを表現する楽しさを味わうとともに、基礎的な知識や技術を身に付けます。</p> <p>2 様々な作品を見たり批評し合ったりすることで、幅広い見方のできる鑑賞能力も伸ばします。</p>
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての表現活動において、主にアクリル絵の具を使用します。 ・絵画、デザイン、立体造形、鑑賞、それぞれの学習項目の中に、美術を学習する上で基礎となる大切な内容が入っています。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	1 美術の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆削りを通して、道具の扱いや管理など、美術における基礎的な技能を身に付けます。 ・鉛筆による9段階のグラデーションを作ることで、制作活動の基礎となる鉛筆の扱いについて学びます。 ・作品、感想文 	B	-	A	-
	2 身近なものを描く (鉛筆デッサン)	<ul style="list-style-type: none"> ・手のデッサンを通して線の重ね方や明暗の階調の付け方など鉛筆デッサンの基礎的な描法について学びます。 ・身近なものをよく見て描くことで、観察力を養うと共に、物の形を正確に描写する技術を身に付けます。 ・作品、感想文 	B	-	A	B
	3 想像してあらかわす	<ul style="list-style-type: none"> ・連想した言葉を組み合わせ、ありえないものや状況を想像します。 ・より面白い配置を考えることで構成力を身に付けるとともに、アクリル絵の具の使い方、特性を学びます。 ・アイデアスケッチ、作品、感想文 	B	B	A	B
2 学期	4 版の表現 (アートグラス)	<ul style="list-style-type: none"> ・アートグラスの制作と鑑賞を通して、ニードルによる彫りの表現と絵の具による色彩表現のおもしろさを味わいます。 ・色の三原色についての学習で、色彩について科学的理解を深めます。 ・作品、感想文 	B	A	B	B
	5 自己を描く	<ul style="list-style-type: none"> ・自画像の制作を通して観察力を養うとともに、絵画の基本的な描法を学びます。 ・ほかの生徒の作品を鑑賞することで、表現の違いや発想の面白さ、自己理解、他者理解を深めます。 ・作品、感想文 	B	A	B	B
	6 映像が作り出す空間	<ul style="list-style-type: none"> ・映像メディア表現分野の芸術作品を鑑賞することで、新しい芸術表現の世界を味わいます。 ・絵画や彫刻などとは違う芸術表現のあり方について理解を深めます。 ・発表、感想文 	B	-	-	A
3 学期	7 首ふり人形を作る	<ul style="list-style-type: none"> ・首ふり人形の制作を通して、強調や省略して表現する面白さを学びます。 ・立体作品を作ることで、平面作品と違う制作方法、鑑賞方法について理解を深めます。 ・作品、感想文 	B	A	B	B
	8 美術の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ・美術作品の幅広いの鑑賞を通して、美術作品の良さや面白さについて学びます。 ・日本美術や西洋美術の歴史について学ぶと共に、アジアや他の国々の多様な芸術について理解を深めます。 ・感想文 	A	-	-	B

(備考) ・美術教室の道具類は美術選択者全員が使用します。丁寧に扱い、実習終了後の整理整頓を心掛けてください。

平成30年度 シラバス

教科	芸術	科目	書道 I	学年・学科・類型	1年 商業科 I型
単位数	2	教科書	書 I (教育図書)		
副教材					

学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 様々な書体を勉強し、古典の美に触れ、感性を磨きます。 2 古典を臨書し、様々な書体を書くための技術を身に付けます。 3 日常生活に即した、整った字の書き方を学びます。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の臨書を通して、観察力や技術を学び、集中力を養います。 ・書の歴史を学び、作品への理解を深めます。 ・古典で学習した内容を、創作活動に活用します。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	1 楷書	<ul style="list-style-type: none"> ・書道用具や書道史の基本的なことを学習して、書道学習への心構えを身に付けます。 ・用筆法や字形の組み方を学習し、作品によって異なる書き方を学びます。 ・臨書への取り組み、作品 	B	A	—	B
	2 行書	<ul style="list-style-type: none"> ・行書体の字の崩し方の原理を学び、流動する用筆美を味わいます。 ・時代によって異なる書風を鑑賞し、臨書に生かします。 ・臨書への取り組み、作品 	B	A	—	B
2 学期	2 行書	<ul style="list-style-type: none"> ・日本で発展した書の芸術美を味わいます。 ・臨書への取り組み、作品 	B	A	—	B
	3 隸書	<ul style="list-style-type: none"> ・古典的用筆法を学び、簡略美を味わいます。 ・臨書への取り組み、作品 	B	A	—	B
	4 篆刻	<ul style="list-style-type: none"> ・篆刻の方法を学び、それぞれの姓名を印材に刻します。 ・取り組み、作品 	B	—	A	B
	5 創作(漢字)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の臨書で学んだ字形や用筆法を生かして、漢字の書の創作をします。 ・応用力、作品 	B	—	A	B
3 学期	6 仮名	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の基本用筆を学び、平仮名の書き方などを学びます。 ・平安期の和歌を学習し、いろいろな散らし書きを学びます。 ・臨書への取り組み、作品 	B	A	—	B
	7 創作(漢字仮名交じり)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を生かして、漢字仮名交じりの書を創作します。 ・応用力、作品 	B	—	A	B

(備考) 書道の道具類は、丁寧に扱い、後片付けもしっかり行ってください。

平成30年度 シラバス

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅰ	学年 学科 類型	1年 商業科 I型
単位数	4	教科書	Power On English Communication I (東京書籍)		
副教材等					

学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 英語を理解し英語で表現しようとする、コミュニケーションへの積極的な態度を身に付けます。 2 英語の内容を理解し、自分の感想や考えを英文で表現できる表現力を習得します。 3 基本的な構文や文法、語彙を習得します。全商英語検定3級以上を目標とします。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業は予習を前提に行います。予習ができていなければ、授業中の言語活動に参加できなくなります。自分の力で予習を行う習慣をつけましょう。 ・分からないことがあれば辞書を利用して、自分で調べてみるようにしましょう。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	Lesson 1 Mt. Fuji - a Symbol of Japan	<ul style="list-style-type: none"> ・富士山に関心を持ち、さまざまな情報を読み取ります。 ・動詞の現在形・過去形、未来表現、進行形を身に付けます。 ・ノート、定期考査 	B	A	B	B
	Lesson 2 Sleep in Animals	<ul style="list-style-type: none"> ・動物の睡眠の特徴についての情報を読み取ります。 ・比較表現、不定詞、動名詞を身に付けます。 ・ノート、定期考査 	B	B	A	B
1 学期 末	Lesson 3 Nagatomo Yuto - a Long Hard Road to Success	<ul style="list-style-type: none"> ・長友佑都選手が世界で活躍する選手になるまでの道のりを読み取ります。 ・現在完了形、S+V+O[=that節]、受け身を身に付けます。 ・ノート、定期考査 	B	B	A	B
	Lesson 4 Kawaii and Japanese Pop Culture	<ul style="list-style-type: none"> ・日本のポップカルチャーが世界でどのように受け入れられているかについて読み取ります。 ・It is+形容詞+to不定詞、助動詞、関係代名詞を身に付けます。 ・ノート、定期考査 	B	A	B	B
2 学期 中間	Lesson 5 Banana Paper	<ul style="list-style-type: none"> ・バナナペーパーのエンフェ村への影響について読み取ります。 ・分詞の形容的用法、S+V[=be以外]+C、S+V+O+C[=形容詞]を身に付けます。 ・ノート、定期考査 	B	A	B	B
	Lesson 6 A Story about Instant Noodles	<ul style="list-style-type: none"> ・インスタントラーメンの開発について読み取ります。 ・S+V[=知覚動詞]+O+C[=現在分詞]、助動詞+受け身、S+V[=使役動詞]+O+C[=原形不定詞]を身に付けます。 ・ノート、定期考査 	B	B	A	B
2 学期 末	Lesson 7 The Earth, Our Home!	<ul style="list-style-type: none"> ・古川聡さんのISSでの経験について読み取ります。 ・S+appear(s)+to不定詞、関係副詞where、It is+形容詞[名詞]+that節を身に付けます。 ・ノート、定期考査 	B	B	A	B
	Lesson 8 Mr. Fija and Uchinaaguchi	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄語の保存・継承活動について読み取ります。 ・現在完了進行形、関係副詞when、仮定法過去を身に付けます。 ・ノート、定期考査 	B	A	B	B
3 学期	Lesson 9 The Power to Unite People	<ul style="list-style-type: none"> ・ネルソン・マンデラ氏が国をひとつにまとめる軌跡を読み取ります。 ・過去完了形、未来進行形、分詞構文(現在分詞)、強調構文を身に付けます。 ・ノート、定期考査 	B	A	B	B
	Lesson 10 Carving for the Future	<ul style="list-style-type: none"> ・海外で活躍する日本人彫刻家の成功への軌跡を読み取ります。 ・関係代名詞の非制限用法、S+V+O+C[=過去分詞]、関係代名詞whatを身に付けます。 ・ノート、定期考査 	B	B	A	B
	Reading Mama's Bank Account	<ul style="list-style-type: none"> ・決して裕福ではないアメリカの家庭の母親が、子供たちを安心させるために取り続けた行動について、登場人物の心情を想像しながら読みます。 ・ノート、定期考査 	B	B	A	B

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	商 業	科 目	ビジネス基礎	学年 学科 類型	1年 商業科 I型
単位数	3	教科書	ビジネス基礎 新訂版 (東京法令出版)		
副教材等	全商商業経済検定問題集3級(実教出版) 全商珠算・電卓実務検定模擬問題集1級(実教出版)				

学習の目標	<p>1 生産・流通・消費という経済の仕組みの中におけるビジネスの諸活動の意義や役割などの基礎的な知識や技術を身に付ける。</p> <p>2 経済社会の一員として望ましい心構えを修得し、ビジネスの諸活動に適切に対応できる能力と態度を養います。</p>
学習の方法	<p>・この科目は商業の原則必修科目として位置づけられており、基礎的・基本的な内容を学習します。より専門的な学習にチャレンジするためにも、基礎・基本の徹底を心掛けて取り組んでください。</p> <p>・全商商業経済検定3級合格を目指し、講義をもとに、問題を解きながら理解力を深めていきます。冬休みの課題等で、模擬問題を解いて実践力を身に付けていきます。</p>

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1章 商業の学習ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・商業を学ぶ目的と学び方、商業の学習分野と職業の関連を取り扱い、商業の学習ガイダンスを行い、商業の学習への動機付けや卒業後の進路について意識しながら学習します。 ・課題プリント、ノート 	A	—	—	B
	第2章 ビジネスとコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスに対する心構え、コミュニケーションの基礎、情報の入手と活用の方法を取り扱いながら、ビジネスの諸活動を円滑に行う能力と態度について学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査 	B	B	—	A
1 学期 末	第5章 ビジネスと売買活動	<ul style="list-style-type: none"> ・売買契約の意義や売買取引の流れ、仕入原価や売価の計算などのビジネス計算、代金決済の手段を取り扱い、売買取引を行うための基礎的な知識と技術について学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査 	B	—	A	B
	第3章 経済と流通の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・経済主体の役割、ビジネスの役割と発展などを取り扱い、経済と流通に関する基礎的な知識について学習します。 ・小テスト、ノート、定期考査 	B	B	—	A
2 学期 中間	第3章 経済と流通の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・経済主体の役割、ビジネスの役割と発展などを取り扱い、経済と流通に関する基礎的な知識について学習します。 ・小テスト、ノート、定期考査 	B	B	—	A
	第5章 ビジネスと売買活動	<ul style="list-style-type: none"> ・売買契約の意義や売買取引の流れ、仕入原価や売価の計算などのビジネス計算、代金決済の手段を取り扱い、売買取引を行うための基礎的な知識と技術について学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査 	B	—	A	B
2 学期 末	第4章 企業活動の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・企業形態と経営組織、資金調達、企業活動と税、雇用形態と雇用に伴う企業の責任を取り扱い、企業活動に関する基礎的な知識を学習します。 ・小テスト、ノート、定期考査 	B	B	—	A
	第5章 ビジネスと売買活動	<ul style="list-style-type: none"> ・売買契約の意義や売買取引の流れ、仕入原価や売価の計算などのビジネス計算、代金決済の手段を取り扱い、売買取引を行うための基礎的な知識と技術について学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査 	B	—	A	B
3 学期	第4章 企業活動の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・企業形態と経営組織、資金調達、企業活動と税、雇用形態と雇用に伴う企業の責任を取り扱い、企業活動に関する基礎的な知識を学習します。 ・冬休み課題プリント、小テスト、ノート 	B	B	—	A
	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・前章で学んだ、仕入れ原価や売価の計算などのビジネス計算、代金決済の手段を取り扱い、売買取引を行うための基礎的な知識と技術について反復学習します。 ・課題プリント、小テスト、ノート 	B	A	—	—

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	商 業	科 目	簿 記	学年 学科 類型	1年 商業科 I型
単位数	5	教科書	簿記 新訂版 (東京法令出版)		
副教材等	完全段階式 標準検定簿記問題集 3級、2級 (東京法令出版)				

学習の目標	1 企業において日常発生する取引を仕訳し、勘定記入を経て、決算に至る簿記の基本的な仕組みについて理解します。 2 帳表作成や簿記の基本からビジネス活動を計数的にとらえ、経営判断の視点を養います。
学習の方法	・この科目は商業の原則履修科目として位置づけられており、基礎的・基本的な内容を学習します。より専門的な学習にチャレンジするためにも、基礎・基本の徹底を心掛けて取り組んでください。 ・全商簿記検定2級合格を目指し、講義をもとに、問題を解きながら理解力を深めていきます。冬休みの課題等で、模擬問題を解いて実践力を身に付けていきます。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第Ⅰ編 簿記の基本	<ul style="list-style-type: none"> 簿記に関する基本的な知識や、一連の簿記記入の体系を学習します。 課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	B	A
	第Ⅱ編 各種取引の処理	<ul style="list-style-type: none"> 企業の経営活動によって発生するさまざまな取引について、基本的な記帳方法を学習します。 課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	B	A
1 学期 末	第Ⅲ編 決算(1)	<ul style="list-style-type: none"> 会計期間中に記入された仕訳帳と総勘定元帳から、財務諸表を作成する一連の手続きについて学習します。 課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	B	A
	第Ⅳ編 会計帳簿(1)	<ul style="list-style-type: none"> 会計帳簿の種類と役割、企業の分課制度と帳簿全体のしくみについて理解するとともに、コンピュータを利用した会計処理の利点についても学習します。また、3伝票の作成方法も習得します。 課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	B	A
2 学期 中間	第Ⅴ編 特殊な取引	<ul style="list-style-type: none"> 特殊な商品売買と特殊な手形取引について学習します。 課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	B	A
	第Ⅵ編 会計帳簿(2)	<ul style="list-style-type: none"> 記帳の合理化の必要性和、その基本的な考え方について学習します。 課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	B	A
2 学期 末	第Ⅶ編 決算(2)	<ul style="list-style-type: none"> 間接法による減価償却の記帳や有価証券の評価など、より進んだ決算整理について学習します。 課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	A	B
3 学期	第Ⅷ編 本支店会計	<ul style="list-style-type: none"> 支店開設にともなう基本的な記帳方法や、本支店間の取引、支店相互間の取引(本店集中計算制度)に関する記帳についての理解や、本店と支店の財務諸表の合併に関する手続きについて学習します。 課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	A	B	B
	発展編 本支店の内部利益	<ul style="list-style-type: none"> 内部利益を加算した場合の取引の記帳やその控除に関する処理、および本支店合併財務諸表の作成について学習します。 課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	A	B	B
	発展編 株式会社会計	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社の設立・開業・剰余金の配当および処分、社債の発行など株式会社特有の記帳について学習します。 課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	—	A

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	商 業	科 目	情報処理	学年 学科 類型	1年 商業科 I型
単位数	3	教科書	最新情報処理 新訂版 (実教出版)		
副教材等	学習と検定Excelで学ぶ全商情報処理テキスト3級 (実教出版)				

学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 ビジネスにおける情報の意義を理解し、情報をビジネスに積極的に活用する態度を身に付けます。 2 コンピュータやソフトウェアに関する基礎的な知識を習得し、機器の有効利用ができるようにします。 3 情報通信ネットワークなどを活用したビジネス情報の処理ができるようにします。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・情報処理の基本的な知識を座学により学び、様々なアプリケーションソフトの操作に習熟するようにパソコンを活用した実習を取り入れて応用的な操作能力を養成していきます。 ・検定資格の取得に効果的な授業をすすめ、上級資格取得が可能なように指導します。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	1章 情報の活用と情報モラル	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスにおける情報の意義や活用方法を学び、情報モラルについても配慮しつつ、有効な活用方法を考えられるようにします。 ・行動の観察、発表、学習ノート、定期考査 	A	B	—	B
	1章 情報の活用と情報モラル	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードウェアとソフトウェアの基本的な知識と活用例を学び、今後の技術の進歩に対応できるようにします。 ・授業中課題、定期考査 	A	B	—	B
1 学期 末	2章 情報通信ネットワークとセキュリティ管理	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの基本的な知識を学び、セキュリティの具体的な対応策を理解しつつ、情報化社会に対応できる能力と姿勢を養います。 ・行動の観察、学習ノート、定期考査 	—	B	B	A
	2章 情報通信ネットワークとセキュリティ管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス情報について正確な情報を検索・収集したり、電子メールや添付ファイルの仕組みを理解し、その活用方法を学びます。さらにコンピュータを保護するためのセキュリティ管理について学びます。 ・授業中課題、定期考査 	—	B	B	A
2 学期 中間	3章 ビジネス情報の処理と分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの処理に必須の表計算ソフトの操作方法を学びます。様々な関数の活用方法やグラフの作り方を身に付けます。 ・休業中課題、授業中課題、実習作品、定期考査 	B	B	A	—
	3章 ビジネス情報の処理と分析	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトを活用した情報の整列・検索・抽出の技法を学び、実用的な操作ができるようになります。 ・実習作品、授業中課題、定期考査 	B	B	A	—
2 学期 末	3章 ビジネス情報の処理と分析	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じた適切な計算やビジネスにおける需要予測などの手法を習得していきます。 ・実習作品、授業中課題、定期考査 	B	B	A	—
	4章 ビジネス文書の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・文書処理ソフトの基本的な操作方法から、図表やグラフの挿入やレイアウト編集の手法まで実習を通して習得します。 ・タイピングスコア、実習作品、定期考査 	B	B	A	—
3 学期	4章 ビジネス文書の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスで活用する様々な基本文書に関して書式や役割を学びます。さらに差し込み印刷やはがき宛名印刷等を学び、実用的な操作ができるようにします。 ・休業中課題、タイピングスコア、授業中課題、定期考査 	B	B	A	—
	5章 プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの意義と必要性について考え、アウトラインの作成や序論・本論・結論のプランニング等を学びます。 ・発表、授業中課題、定期考査 	A	—	B	B
	5章 プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションソフトウェアを活用した実習を通して、発表用の資料の整理や作成などの準備から発表までのプレゼンテーション技法を習得します。 ・発表、発表態度、定期考査 	A	—	B	B

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。